

# 万葉集の基礎知識

万葉集の発案者や作成の目的など詳しくわかっていませんが、万葉集に収められている歌の表現様式や種類にはさまざまな形があります。知っている、「万葉集」の面白さがより実感できます。



藍紙本万葉集（複製）(写真提供 = 鳥取市因幡万葉歴史館)

## 「万葉集」の歌の種類

三 大 部 立	ぞう 雑 か 歌	相聞歌・挽歌に分類されない歌で、自然や宮廷の儀式、旅などで詠んだもの。公的な場所で詠まれることが多い。
	そうもん 相 聞 歌	男女の恋の歌を詠んだものが多い。公的な雑歌に対して私的な性格が強い。
	はん 挽 か 歌	人の死にまつわるもの。死を悼む歌や臨終の歌、死者を追慕する歌などがある。

## 「万葉集」の歌のかたち

ちようか 長歌 (約260首)	5・7とくり返し、5・7・7で結ぶ歌。5・3・7の結びや、最後の句を繰り返すものもあります。「万葉集」は長歌に添え、主題の要約、補足などをする反歌(短歌)が見られます。
たんか 短歌 (約4,200首)	5・7・5・7・7の5句で詠まれた歌。字余りもあります。
せどうか 旋頭歌 (約60首)	5・7・7/5・7・7の6句で詠まれ、同じ句を繰り返す民謡的な歌も多くあります。
ぶっそくせきか 仏足石歌 (約1首)	奈良・薬師寺の石に刻まれた5・7・5・7・7・7の6句の歌。太古の歌謡が起源と言われています。

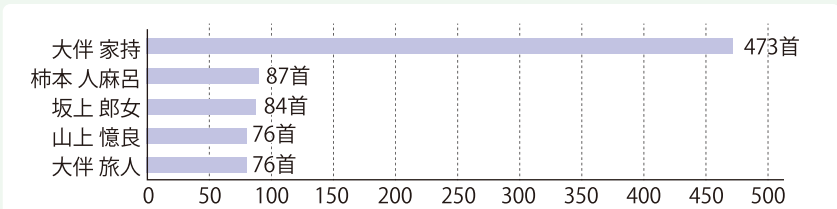
## 巻数でわかる歌の特徴

「万葉集」は全20巻が年代順にまとめられているわけではありません。

巻ごとに収められた歌の特徴があります。

- |                     |                                 |
|---------------------|---------------------------------|
| 巻-1：宮廷を中心にした雑歌      | 巻-11：恋の歌・相聞歌のやりとり               |
| 巻-2：巻-1に同じ。相聞歌・挽歌   | 巻-12：巻-11に同じ                    |
| 巻-3：巻-1・2を補う歌       | 巻-13：長歌を中心とする歌謡風の歌              |
| 巻-4：巻-3に同じ。恋のやりとりの歌 | 巻-14：東国で歌われた東歌                  |
| 巻-5：大宰府を中心にした歌      | 巻-15：遣新羅使の歌<br>中臣宅守と狭野茅上娘子の悲恋の歌 |
| 巻-6：宮廷を中心にした歌       | 巻-16：伝説の歌、おどけた歌                 |
| 巻-7：旅の歌など           | 巻-17：大伴家持の越中国への赴任前後の歌など         |
| 巻-8：四季ごとの歌          | 巻-18：大伴家持の越中守時代の歌など             |
| 巻-9：旅と伝説の歌          | 巻-19：大伴家持の越中守時代と帰京後の歌など         |
| 巻-10：季節の歌           | 巻-20：大伴家持の在京中の贈答歌、宴席歌、防人の歌など    |

## 万葉集に収められている歌人ごとの歌の数



参考文献 中西進監修 (2011) 『楽しくわかる万葉集』 ナツメ社  
 坂本敬法編 (2017) 『万葉集 いにしへの歌を旅する』 洋泉社  
 下田忠著 (1986) 『万葉の歌 - 人と風土 - @中国・四国』 保育社  
 坂本勝監修 (2006) 『図説 地図とあらすじで読む万葉集』 青春出版社  
 村田右富実監修 (2015) 『よみたい万葉集』 西日本出版社